

豊かな暮らしを求めて

きもの新調に絶好のチャンス!!



11月5日(土)・6日(日)の両日、お母さんと娘さんを招いて「く日経」京泉服特別ご内見会」が開催される。これは日経大阪セールスセンターが主催して、京都・御室の仁和寺で、京

呉服をお買得価格で買えるほか、文化財の宝庫として有名な仁和寺の重要文化財や庭園を見学し、京料理「美濃吉」の松花堂が無料で賞味できる特典つきのもの。

まず大阪の方は梅田かナンバから、京都の方は国鉄八条口からそれぞれバスで御室へと向かう。

紅葉しきりの晩秋の景色と、路々咲きのこる萩やコスモスがたのしめる。

会場の仁和寺御室会館では、木の香も新しい大広間で黒留袖、色留袖、振袖、訪問着、付けさげ、帯、和装小物まで揃うということである。また幻の色としてその再現が熱望された“帝王紫”染の帯も展示即売される。実際に見せてもらったが、貝からこんなきれいな紫の色素がとれるとは驚きだ。

ききょうの花そのものを摘んで縫い付けたような鮮やかで  
気品のある紫がとてもいい。きもの通にはよろこばれる帯  
であろう。

品揃えも価格もきものの街京都ならではのスケールとお買得値で登場する。

風情のある京のひとつきをたのしみ、老舗の味で季節をたんのうし、入り用だったきものが安く買えるというこの催しを逃がす手はないと思うが、いかがなものであろうか。

の人が奥様やお嬢さんといっ  
よでした。その奥様とお嬢さん  
がほとんどみな着物、それもこ  
のレセプションのためにわざわ  
ざ仕立てられたと思われる素晴  
らしい着物。絢爛豪華そのもの  
でした。レセプション・ホール  
にはいろいろなデコレーション  
や花が飾られ、またおいしい料  
理もたくさん出たのですが、こ  
のレセプションを最高に美しく  
飾り、最も日本らしい雰囲気  
で包んだのは、何といつても、こ  
の着物でした。

着物は、秋のお茶席にはこれ、  
春の結婚披露宴にはあれという  
ふうに、時と所に合わせて選ば  
れます。着物の模様は、その着

も、そのドレスを飾るだけで、周囲に働きかける感じはありません。あくまでも、それを着る人だけのものなのです。洋服の選択には、それを着る人に似合うかどうかだけが大切で、いつでも着るかはあまり考えられません。

この着物と他の衣服の相違のために、着物だけがかえって一種の国際性をもつという、不思議なことが起こります。服装にも

人女性が着るのでなければ、どうにもなりません。

着物が日本を代表することは、いうまでもありません。しかし、着物だけは、どの国で着ても、賞讃され、喜ばれます。着ている人が美しくなるだけでなく、周囲全体にぱっとはなやいだ感じをあたえるからでしょう。ロンドンのパーティーに着物姿がだんだん増えているのは不思議ではありません。

中て日本への関心が高まっています。世界中で着物姿が見られるのも遠いことではないのではないのでしょうか。浮世絵や陶器のように、外国ですいぶん人気があるので、日本であらためて見直すこともあるのでは、と思ったりもします。

# 広告

A black and white illustration of a woven basket hanging from a wooden structure, possibly a fence or a rack. The basket is filled with various items, including what appears to be a hat and a bag. The background shows vertical wooden posts and horizontal rails, suggesting an outdoor setting. The style is simple and illustrative, with some cross-hatching for shading.

物だけで終わるのではなく、着られる場所、背景、周囲の飾りなどに溶けこんで、そこにふさわしい美しさをかもし出します。着物がそれを着る人を中心にその周囲をただよい、模様はさらに広く動き廻っている気がします。これは、他の衣服には感じられない、着物の特徴でしょう。

洋服は、どれほどゴージャスなドレスでも、その美しさは、そのドレスに限られます。模様

国の違いがあります。Tシャツ、ショートパンツ、原色のチエツクのアメリカとシックなバリモードの違いです。国民性といったものが服装に反映しているのかもしれない。そのために、アメリカでカッコよいラフスタイルがドイツで場違いな感じをあたえることもあります。南アフリカの黒人女性は、あざやかな原色のドレスをもっています。しかし、これは南アフリカで黒

この着物の特徴は、美しい高価なものだけに限りません。普段着は、着ている人に落ち着きをあたえるだけでなく、周囲全体をゆつたりと落ち着いたものにします。私は、インドのよつな暑い所に行く時には、浴衣をもつていきます。それを着れば、たいていの所で、恥しくありません。涼しくて、くつろぐ時にも最適です。荷物にもなりません。日本商品の進出とともに世界

MY WAY  
MY LIFE

## 41 着物の魅力



エリザベス・オリバー

物だけで終わるのではなく、着られる場所、背景、周囲の飾りな

国の違いがあります。Tシャツ、  
ショートパンツ、原色のチエツ

この着物の特徴は、美しい高価なものだけに限りません。普